

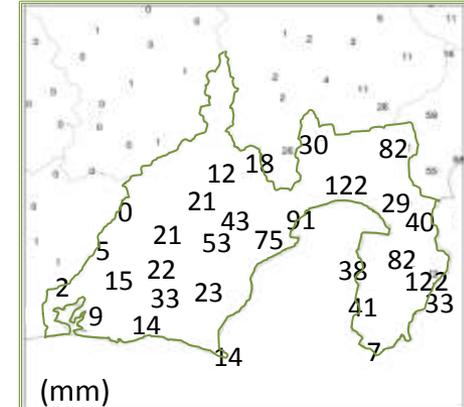
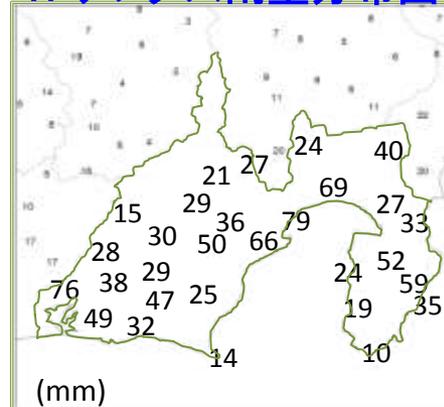
2005年 7月9日～10日 日本海低気圧

1. 気象経過

日本海に前線を伴った低気圧があり、そこからのびる温暖前線が、9日夜のはじめ頃県内を通過し、地上付近まで暖かく湿った空気が入り始めた。この時、静岡ウィンドプロファイラでは、高度1500m付近において南南西の風、風速20m/s、数値予報から予想される相当温位*は340K前後であった。温暖前線通過後、西部、中部の山沿いから伊豆にかけて局地的前線が発生。前線上に非常に暖かく湿った風が次々と流れ込んだため、積乱雲が次々発生、発達した。さらに前線上に局地的な低気圧が発生し、夜遅くにかけて中部から東部、伊豆へと北東進した。これにより、**アメダス三ヶ日では9日19時30分まで尾1時間に観測史上2位となる76mm、アメダス清水では、9日21時50分までの1時間に観測史上3位となる79mmのいずれも非常に激しい雨を観測した。**さらに低気圧が通過した東部、伊豆でも非常に激しい雨となった。

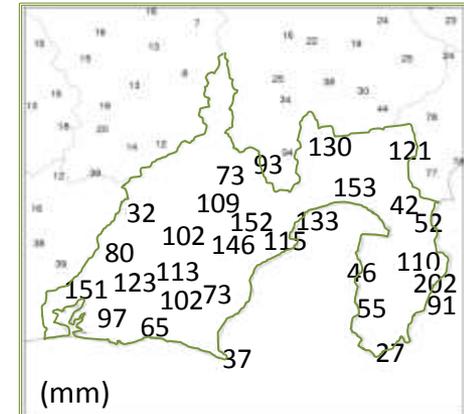
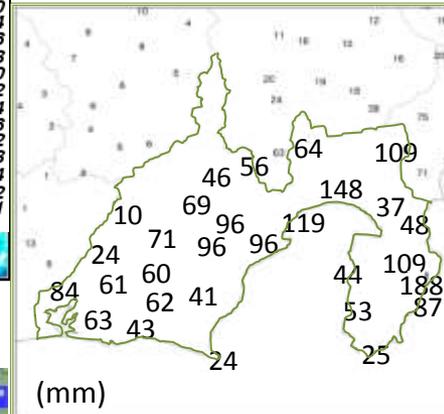
*相当温位: ある高さの空気塊のエネルギーを同じ条件下(1000hPa気圧面)で比較するため換算したものの。暖候期の高度1500m付近の相当温位の目安としては、330Kを越えると短時間強雨の可能性が高まり、340Kを越えると大規模な災害が発生するような大雨に警戒が必要となってくる。単位は絶対温度(K:ケルビン)

4. アメダス雨量分布図



アメダス1時間雨量(正10分毎)
7月9日～10日における最大値

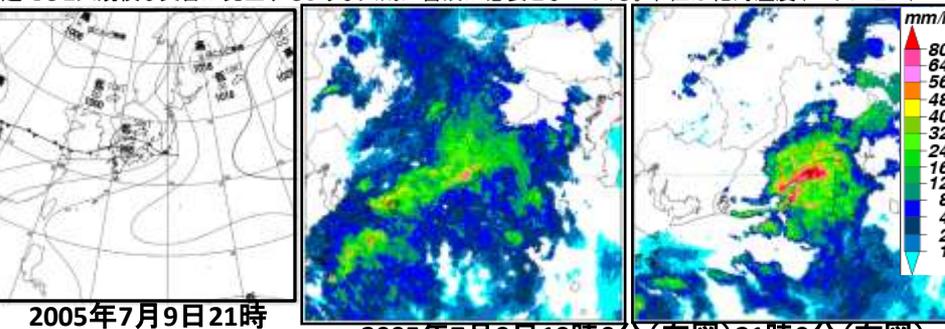
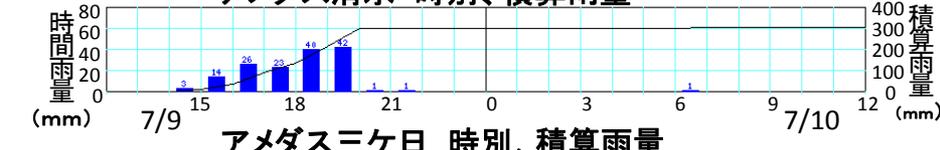
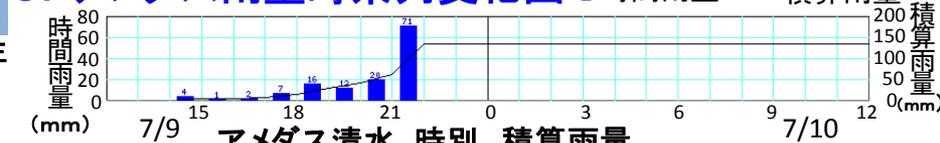
アメダス 3時間雨量(正時毎)
7月9日 21時～23時



アメダス6時間雨量(正時毎)
7月9日 19時～10日0時

アメダス 日雨量
7月9日

5. アメダス雨量時系列変化図



2. 大雨の特徴

温暖前線が通過する際、山地では顕著な昇温とならず、沿岸部の暖域との間に局地的な前線が発生する場合があります。これは気温が下がる夜に顕在化しやすい。今回前線上に低気圧が発生、発達したのは地上付近まで風が強かったことが一因である。山沿いに局地的前線が発生し大雨となるケースは、日本海を東進する低気圧の典型的な大雨パターンである。また、局地的な低気圧発生に着目点として、瀬戸内海付近に局地的な低気圧の発生が関連する場合がありますが、本事例においても発生が確認できた。

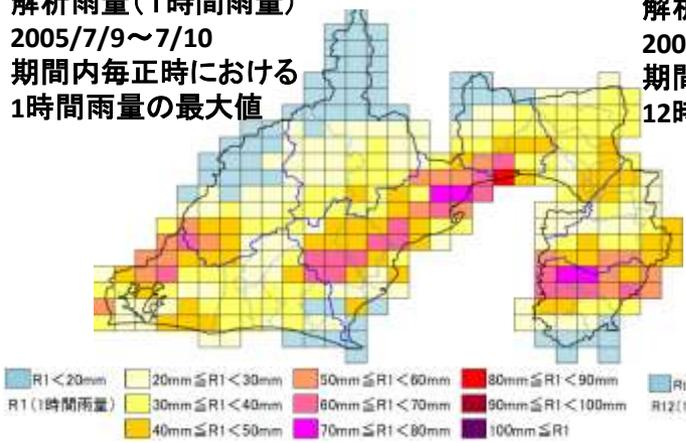
3. 被害概要

	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 損壊 (棟)	死傷 者 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	避難 者 (人)	道路 閉鎖 (カ)	橋り 壊 (カ)	河川 決壊 (カ)	移動 困難 (カ)	鉄道 不通 (カ)
全県	23	275	0	0	1	0	0	0	90	219	1	15	0	0
中部	15	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	2	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東部	6	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊豆	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

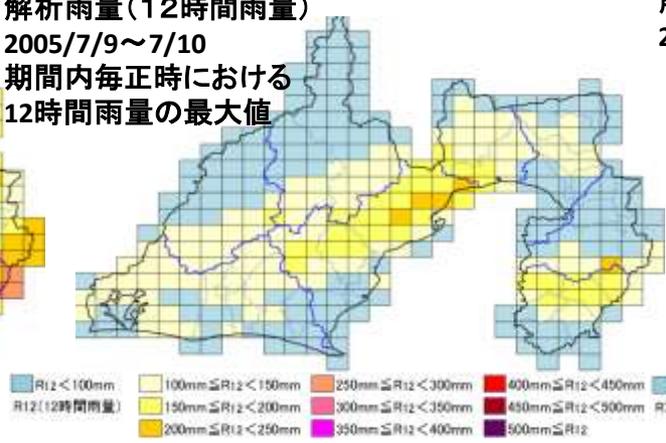
被害数は、静岡県 平成17年における災害の状況による

6. 解析雨量分布図

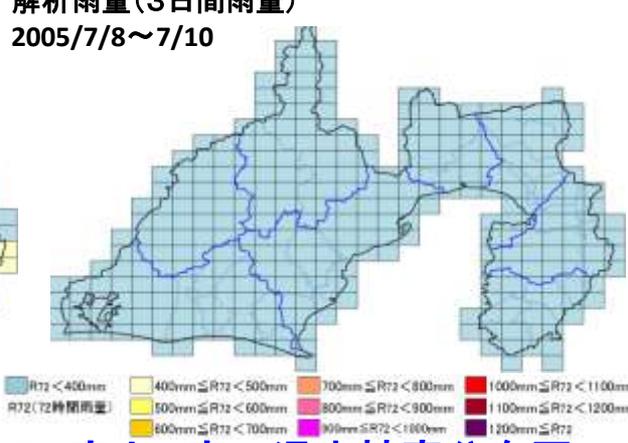
解析雨量(1時間雨量)
2005/7/9~7/10
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



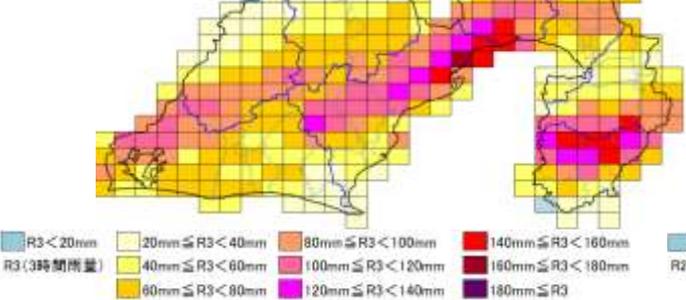
解析雨量(12時間雨量)
2005/7/9~7/10
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



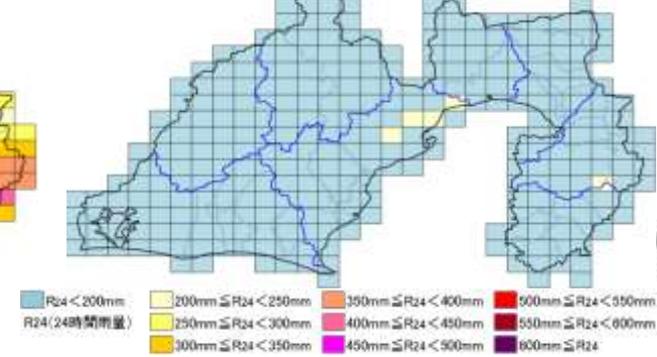
解析雨量(3日間雨量)
2005/7/8~7/10



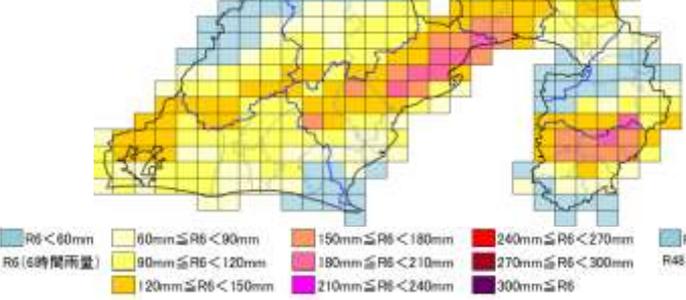
解析雨量(3時間雨量)
2005/7/9~7/10
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



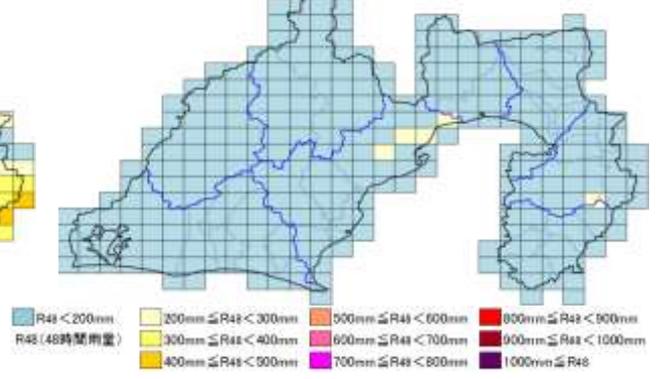
解析雨量(日雨量)
2005/7/9



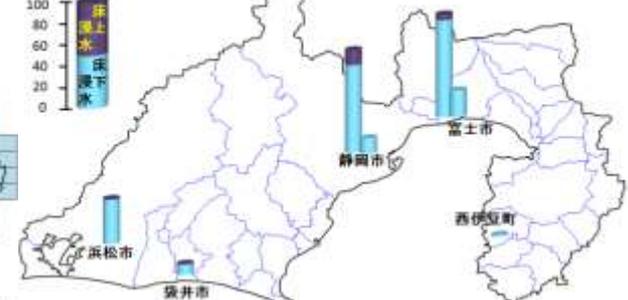
解析雨量(6時間雨量)
2005/7/9~7/10
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
2005/7/9~7/10



7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)



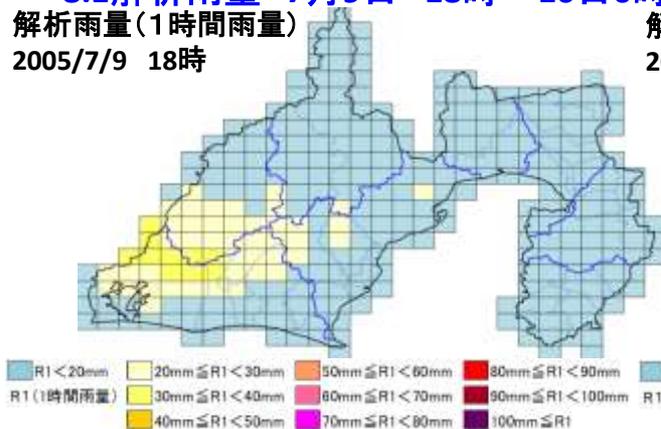
解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

中部、西部山沿いから富士山南西へと南西-北東ラインで、伊豆の中央には東西ラインで強雨域が分布している。強雨は、暖かく湿った風の流れるまで数時間から半日程度続く場合が多い。高度1500m付近の風速10~20m/s程度の風により、山沿いで大雨となる典型的事例。なおこれ以上風速が強くなると山地中心の大雨となる。また、伊豆の強雨は、中部、西部と比較して数時間遅く始まるのが一般的であり、前線の形成有無も様々である。今回は2003年7月3~4日、2004年6月30日に続き3年連続で静岡市を中心に降った局地的な大雨であった。

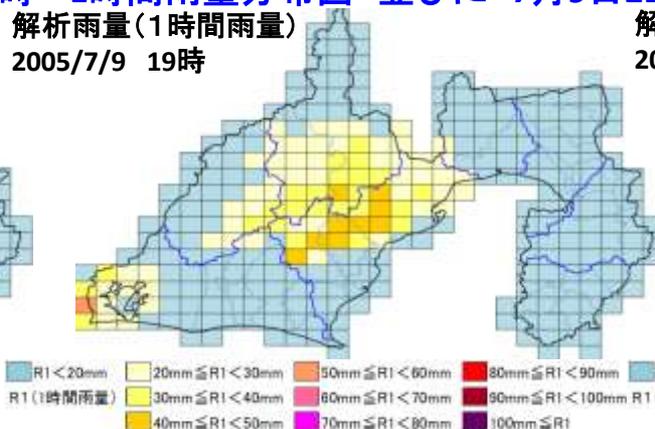
8. その他の記録

8.1 解析雨量 7月9日 18時～10日0時 1時間雨量分布図 並びに 7月9日21時までの3時間雨量分布図

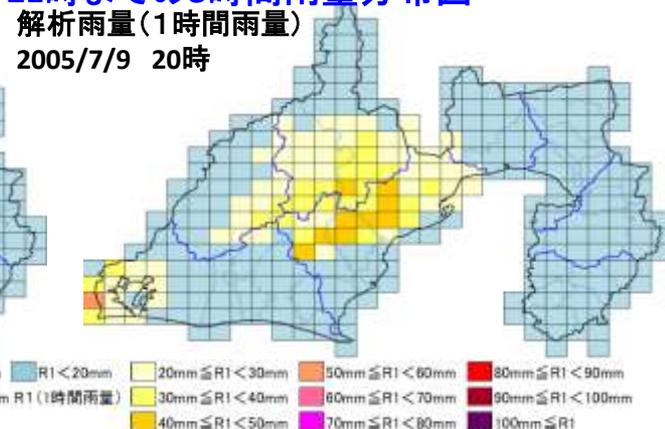
解析雨量(1時間雨量)
2005/7/9 18時



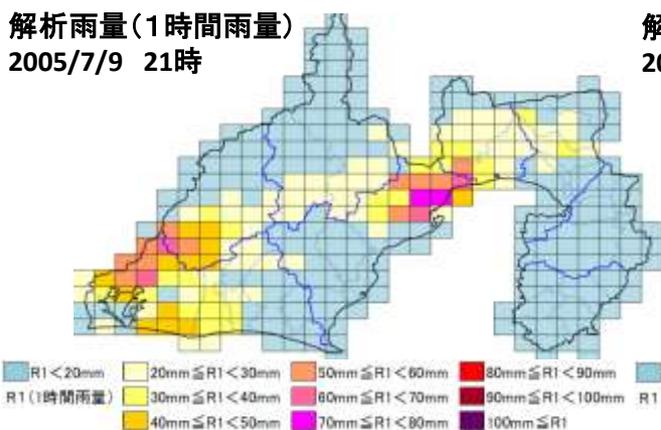
解析雨量(1時間雨量)
2005/7/9 19時



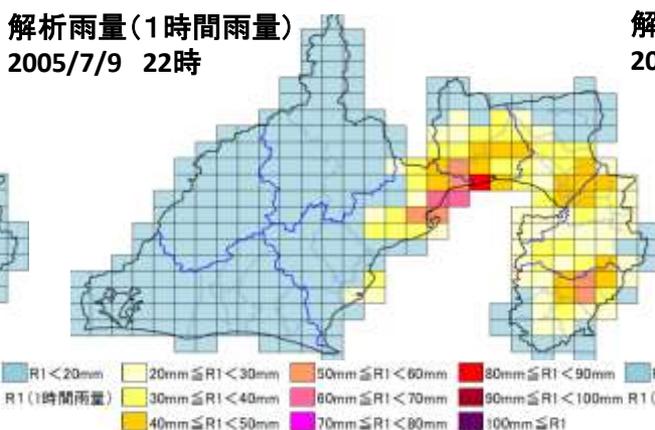
解析雨量(1時間雨量)
2005/7/9 20時



解析雨量(1時間雨量)
2005/7/9 21時



解析雨量(1時間雨量)
2005/7/9 22時



解析雨量(1時間雨量)
2005/7/9 23時



解析雨量(1時間雨量)
2005/7/10 0時



解析雨量(3時間雨量)
2005/7/9
20時～22時

